

令和5年度

事業報告書



南房総市社協マスコットキャラクター「みなみん」



社会福祉法人南房総市社会福祉協議会

目 次

〇はじめに	3
1 地域福祉の推進	
(1)地域福祉ネットワーク事業	
① 地区社会福祉協議会の活動支援	3
② ささえあいネットワーク南房総(協議体と生活支援コーディネーター)の取り組み	5
(2)地域生活支援事業	
③ 福祉団体支援	7
④ 福祉施設の運営(公益事業)	7
⑤ 法律相談事業	7
⑥ 応急援護資金交付事業	8
⑦ ひとり親家庭支援事業	8
(3)広報啓発事業	
⑧ 広報啓発	9
⑨ 社会福祉大会	10
(4)福祉活動支援事業	
⑩福祉教育の推進	11
2 高齢者の日常生活の支援	
(1)在宅福祉支援事業	
① ふれあいの居場所づくり支援事業	12
② あんしん見守り事業(みまも〜る)	13
③ 紙おむつ給付事業	13
④ 交通空白地有償運送事業(ボランティア移送サービス)	14
⑤ 生活援助サービス事業(みなみん・おたすけサービス)	15
⑥ 福祉車両・福祉機器貸出事業	16
⑦ 福祉機器リサイクル事業	17
⑧ 訪問理髪サービス事業	17
3 安心した生活を送るための相談支援と権利擁護	
(1)相談支援事業	
① 生活困窮者自立相談支援事業	17
② 日常生活自立支援事業	18
③ 安房地域権利擁護推進センターへの協力	19

4 自立と生活の安定を図る資金の貸付

(1)資金貸付事業

- ① 福祉資金貸付事業(市社協)……………19
- ② 生活福祉資金、高齢者及び重度障害者居室等改築・改造資金
貸付事業(県社協)……………19

5 ボランティア活動の支援

(1)ボランティア活動支援事業

- ① ボランティア連絡協議会の運営……………20
- ② ボランティア・市民センターの整備……………20
- ③ ボランティア養成講座……………21
- ④ ボランティア活動助成事業……………22

6 共同募金運動の推進

(1)共同募金事業

- ① 赤い羽根共同募金運動……………22
- ② 歳末たすけあい運動……………23
- ③ 災害義援金募集……………24

7 社会福祉協議会の活動基盤整備

- ① 事務局体制の充実……………25
- ② 会員募集の状況……………27
- ③ 役職員研修……………27
- ④ 財産・人里管理……………27
- ⑤ 福祉基金の造成……………27
- ⑥ 福祉サービス苦情解決と情報公開……………27
- ⑦ 地域福祉活動計画に基づく活動の実施……………27

令和5年度 社会福祉法人南房総市社会福祉協議会事業報告

〇はじめに

南房総市では、少子高齢化の進行や人口減少、人間関係の希薄化などを背景に、社会や家族の形態は大きく変化し、数年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響もあり、高齢者の孤立、ヤングケアラーの問題、8050問題、減収や失業など多様化・複合化した新たな地域生活課題への対応がこれまで以上に求められている。

そこで、南房総市社会福祉協議会(以下「社協」)では、こうした地域生活課題に対応するため、社協の使命である「ともに生きる豊かな地域社会」づくりの実現に向け、令和5年度は、これまで実施してきた事業を見直し、地域の「つながり」の再構築へ向け新たな事業や活動を重点に置き、住民・専門職・関係者など分野を超えて連携・協働のもと取り組みを進めた。

特に、新たに取り組んだ見守りが必要な世帯に訪問活動を行う「あんしん見守り事業」は、対象者が広がり、活動をとおして地域住民の「つながり」が生まれ、当事者だけではなく多くの住民の参加と協働のもと事業が進められた。そしてその中から「困りごと」のニーズの把握に努め、社協事業やサービス提供につなげ、より困難な相談については社協の専門分野の個別相談支援につなげた。

また、ささえあいネットワーク南房総をはじめ地区社協活動やサロン活動においては、それぞれの役割の中で様々な行事や活動に参加できるよう積極的に活動を支援し、地域福祉活動の充実を目指すとともに、各事業においては地域の高齢化や担い手不足に対応するため、様式の簡略化や一部デジタル媒体を活用し、事業の改善を図り利便性の向上に努めた。

法人運営事業に関しては、令和6年4月からの事業拠点の再編を進めるため、各団体や事業関係者へ向けた説明会を実施し、再編後も滞りなく事業が進められるよう社協運営の体制整備に努めた。また、福祉行政の要である保健福祉部と連携強化を図り、福祉サービスの向上を目指した。

以下令和5年度の活動状況を、報告する。

1 地域福祉の推進

(1)地域福祉ネットワーク事業

①地区社会福祉協議会の活動支援

【年間実績】 事業費:2,318,201円 (主な事業抜粋)

No	地区名	重点事業	事業実施による成果等
1	富浦	①富浦中学校と高齢者の交流会 ②買い物バスツアー ③友愛訪問	①交流のなかで地域のつながりを育み介護予防の取り組みが図られた。 ②高齢者の外出の機会となり介護予防と買い物支援につながった。 ③民生委員・児童委員と協力し、高齢者宅へ訪問、見守り活動を実施し地域のつながりを強化した。

2	富山	<ul style="list-style-type: none"> ①富山地区フォーラム ②独居高齢者日帰り旅行 ③地区サロンの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ①住民同士の交流を図り、介護予防や健康について周知啓発が図られた。 ②外出することで体力気力の向上が図られた。 ③地区住民同士の交流を通し、閉じこもりを予防し孤独感の軽減が図られた。
3	三芳	<ul style="list-style-type: none"> ①友愛訪問活動 ②いきいきサロン ③まごころ年賀はがき交流 ④委員研修 ⑤広報紙の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者世帯の生活支援と見守りの充実が図られた。 ②高齢者の閉じこもり予防と孤独感の軽減が図られた。 ③小学生との交流を通じて、世代間交流が図られ、地域の絆が深まった。 ④地域の担い手となる委員同志が研修を通して交流し、地域活動への意識を高めた。 ⑤広く地区社協活動が周知できた。
4	白浜	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者のつどい ②二世交流会 ③家庭介護予防教室 ④友愛訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ①ひとり暮らし高齢者の閉じこもり防止と介護予防につながった。 ②グラウンドゴルフで小学生と高齢者が交流し、世代を超えた活動で孤独感の軽減、介護予防の取り組みを実施した。 ③認知症について学び、サポーターを養成した。 ④訪問活動を行い、地域の見守り活動の充実が図られた。
5	千倉	<ul style="list-style-type: none"> ①高齢者ふれあいの日 ②買い物バスツアー ③ふるさと学舎千倉との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ①徒歩で行ける範囲の会場で、地元の住民同士、小学生との交流で、閉じこもり予防や孤独感の軽減を図が図られた。 ②「老人クラブ」と協働し、買い物支援を行った。楽しみながら外出し閉じこもり予防と生活支援の一助となった。 ③地区の障がい者施設の児童生徒と交流を図り、障がい者の社会参加につながった。
6	丸山	<ul style="list-style-type: none"> ①ふれあい小規模サロン ②友愛訪問事業 ③あんしん見守り事業への協力 ④地域福祉フォーラムの協力 ⑤学校や他団体の連携事業 	<ul style="list-style-type: none"> ①参加者同士の交流が図られるとともに参加者や委員も含め地域のつながりを構築することができた。 ②③訪問活動を通して高齢者の健康状況を把握し地域の見守りが強化された。 ④フォーラムをとおして移動に関する情報交換を行い、地域課題を検討することができた。 ⑤学校や他団体との連携を図り、新たな担い手の増員や活動の対象者の幅が広がった。

7	和田	①友愛訪問活動 ②アルパ演奏会の実施 ③AED 委員研修	①民生委員・児童委員やボランティアと協力し、訪問活動を実施した。地域で見守りが必要な対象者の現状把握と、訪問を通して顔と顔がみえる関係づくりができた。 ②老人クラブと連携し演奏会を実施。地域で交流し音楽を楽しみ介護予防に取り組んだ。 ③日赤奉仕団赤十字社の委員を講師に講習を実施し団体同士の交流が図られた。
---	----	------------------------------------	---

地区社協では生活支援コーディネーターが地域活動に積極的にに関わり、活動を支援した。

地区社協の重点事業では、各地区地域課題へ向けた取り組みが進められた。新型コロナウイルス感染症が5類となり、感染防止対策を行いながら、外出や交流会などが行われた。特に介護予防の視点から、バス外出や小規模サロンを実施する地区が多かった。

新たな取り組みとしては、障がい者施設の児童生徒との交流をとおして、障がいのある方の社会参加につながる活動も見られた。



閉じこもり予防のバス外出



障害者施設児童生徒とモルックで交流

②ささえあいネットワーク南房総(協議体と生活支援コーディネーター)の取り組み(市受託)

事業費:5,200,000円

【年間実績】

No	協議体名	取組回数	協議体の内容と成果等
1	こらぼ♡富浦	18	<u>○移動販売の普及による買い物支援</u> 昨年に引き続き移動販売の定着を図り、買い物支援を実施した。新たにJAの移動販売を取り入れ、拡充を図った。また、地域の商店、企業、病院等の情報収集を行い把握に努めた。地区内11カ所で移動販売を実施した。
2	アットホームとみやま	11	<u>○地区内の買い物支援店舗リストの配布</u> 食料品・日用品の配達可能な商店の「富山地区買い物支援リスト」を、世帯やサロン等へ配布した。また地域高齢者を対象に、買い物についてのニーズ調査を実施した。「自分で買い物をしたい」ニーズが多いことから、今後の支援につなげていく。

3	よりどころ みよし	20	<p><u>○山名区を中心に買い物(移動支援)の実施</u> 区長、区役員、民生委員・児童委員と協議を進め、移動に関するアンケートを実施し、地域の意向である「移動販売」を実施した。移動販売を通じて、買い物に来る人同士の交流、民生委員・児童委員によるきめ細かな見守りや安否確認につながった。</p>
4	やあばっしえ 白浜	18	<p><u>○サロン参加者の普及と買い物支援</u> 「サロンやあばっしえ」の周知を図り、サロン参加者の増員を図った。また、サロン開催日に移動販売をつなげ、買い物支援を実施した。2年前に全戸配布した「買い物配達商店一覧」のチラシを更新した。チラシ作成を通して商店の方々とのつながりの強化も図られた。</p>
5	ほっとらいふ 千倉	11	<p><u>○見守りについての手引き作成と周知活動</u> 地域の見守り活動を推進していくため、他地区で取り組んでいる「見守りの手引きの作成」について協議検討した。今後、見守り活動をすすめていくため、地区の区長や役員との連携を図り協議をすすめていく。</p>
6	おたがいさま ネットワーク まるやま	15	<p><u>○救急医療情報カプセルを通じた地域のつながりの強化</u> これまで地区に配付した救急医療情報カプセル情報について区役員、民生委員・児童委員、地区社協委員が中心となり、配布状況や内容の更新を行った。新たな対象者へ配付し、地域のつながりの強化が図られた。</p>
7	ふれあいわだ	11	<p><u>○移動販売車による買い物支援の実施</u> 移動販売車による買い物支援を実施した。区長の協力のもと、チラシを全戸配布、周知を図った。各停車位置での、人数を把握し今後の利用につなげていく。引き続き定着できるよう進めていく。</p>
8	ささえあい ネットワーク 南房総(本所)	11	<p><u>○各地区生活支援コーディネーター、地域包括支援センター及び南房総市健康支援課との情報共有会議、関係者によるささえあいネットワーク南房総の報告会の開催</u> 地域全体でささえあいたすけあい活動の普及、移動、見守り、居場所づくりの推進</p>

市内7地区に配置した「ささえあいネットワーク南房総」(協議体)を開催し、生活支援コーディネーターが住民の方々と地域の福祉課題を協議し、課題を解決するための取り組みを進めた。

引き続き、「買い物支援」や「見守り」の課題に取り組む地区が多かった。今後は、この生活支援体制整備事業が地域の住民だけではなく、地域包括支援センター、福祉施設や介護支援専門員など専門職の方々も含めて、取り組み進めていくことが必要であると思われる。



地域の見守りについて協議する様子



移動販売の取り組み

(2)地域生活支援事業

③福祉団体支援

【年間実績】

福祉団体名	会議(市/支部)	研修会(市/支部)	事業(市/支部)
南房総市民生委員児童委員協議会	6回/89回	7回/7回	0回/2回
南房総市老人クラブ連合会	11回/64回	1回/3回	8回/37回
南房総市遺族会	7回/18回	1回/0回	3回/4回
南房総市ひとり親福祉会	0回	0回	1回
南房総市心身障害者(児)福祉会	6回	2回	4回

市福祉団体(5)、各支部福祉団体(21)の事務局として事務支援及び連絡調整を行い、各団体の自主運営が図られるよう支援に努めた。

団体役員の高齢化と役員のなり手不足もあり団体の継続が課題であるため、事務負担軽減を図り支援した。また、今後は当事者団体の意向を確認しながら、運営支援に努める。

④福祉施設の運営(公益事業) 事業費:6,992,018円

【ちくら介護予防センターゆらり延べ利用実績】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年比較
利用者数	3,091人	3,834人	4,435人	601人
施設利用件数	564回	511回	445回	△66回

ちくら介護予防センターゆらり(浴場等)の指定管理を受け、施設利用者へのサービスの充実を図った。浴場の人数制限が解除され、利用者数が増えた。施設利用件数は、団体利用や相談による施設利用が減ったため、減少した。

ちくら介護予防センターゆらりは、災害時に避難所にもなるため、施設の老朽化に伴う館内のメンテナンスや修繕を実施し、施設管理の整備に努めた。

⑤法律相談事業 事業費:125,960円

【開設実績】

内容(延べ数)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年比較
開設日数	7日	12日	12日	—
相談員数	7人	8人	8人	—
相談件数	39件	60件	55件	△5

【内容別件数】

	内 容	件 数
1	不動産(土地・境界・家屋・墓地・その他所有物)	11
2	相続(遺言・遺産等)	29
3	金銭(借金・貸した金額の請求・家賃滞納・カード関係)	8
4	家族・親族	1
5	商業関係	1

6	財産関係	2
7	各種登記関係	2
8	その他	1
合 計		55

【開催場所】

開催月日	開催場所	担当司法書士相談員
4月20日	ちくら介護予防センターゆらり	庄司 圭
5月18日	とみうら元気倶楽部	佐野 和生
6月15日	白浜コミュニティセンター	山崎 勝弘
7月20日	三芳農村環境改善センター	鈴木 健三
8月17日	和田地域福祉センターやすらぎ	酒井 敏行
9月21日	富山岩井コミュニティセンター	堀川 貢
10月19日	ちくら介護予防センターゆらり	小林 裕明
11月16日	とみうら元気倶楽部	江澤 正志
12月21日	白浜コミュニティセンター	庄司 圭
1月18日	三芳農村環境改善センター	佐野 和生
2月15日	和田地域福祉センターやすらぎ	山崎 勝弘
3月21日	富山岩井コミュニティセンター	鈴木 健三

千葉司法書士会館山支部の協力のもと、法律の無料相談を実施した。身近な場所で問題を気軽に相談してもらうことにより、地域の方々が安心して暮らせるよう支援した。

緊急な相談やより専門的な相談を希望された方については、弁護士会や他の専門窓口の電話相談を案内した。紹介件数は16件。

⑥応急援護資金交付事業(一部市補助) 事業費 100,000 円

【年間実績】

発生日	地 区	交付内容	見舞金額(円)
10月	千 倉	火災 全焼	100,000
合 計 1件			100,000

火災、風水害等で被災された世帯に見舞金を交付し、被災者の当面の経済的負担を軽減し、少しでも早い日常生活が送れるよう支援を行った。今年度の応急援護資金の見舞金は1件の火災であった。

⑦ひとり親家庭支援事業 事業費:142,310 円

【年間実績】

(単位:世帯)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年比較
交付世帯数	2	2	2	—
新規交付世帯数(内)	1	1	1	—

※入居支度金 30,000 円 家賃助成金上限 10,000 円×12 か月 (年6回に分けて給付)

新たに民間アパート等に居住しようとするひとり親家庭等に対し、経済的負担を軽減し自立した生活が送れるよう、入居支度金及び家賃の一部を補助する助成金を交付した。

現状では、市の担当課である社会福祉課からの紹介で申請に至っている。申請者数が伸び悩んでいるので、今後は子ども教育課と協議を進め周知を図り、支援に努める。

(3) 広報啓発事業

⑧ 広報啓発

(1) 広報紙の発行 事業費：964,392 円

【年間実績】

広報紙「てんだあ」	発行部数
60号発行(令和5年7月発行)	14,700部
61号発行(令和5年11月発行)	14,700部
62号発行(令和6年3月発行)	14,700部
年間発行部数	44,100部



広報紙「てんだあ」

広報活動として、広報紙「てんだあ」を3回発行した。事業紹介やお知らせについては、住民からの問い合わせも増え、各種社協の事業の利用につながり成果があった。

(2) ホームページの開設と更新 事業費：91,630 円

南房総市社会福祉協議会 ホームページアドレス URL: <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp/>

【年間実績】

内 容	令和4年度	令和5年度
Facebook いいね	716件	831件
X(旧 Twitter)フォロワー	545件	588件

ホームページには、社協の組織、事業等の紹介をはじめ、住民に必要な福祉情報を掲載した。また、SNS(X やフェイスブック)を開設し、記事の投稿および掲載内容の更新を行い、福祉情報を提供した。

⑨ 社会福祉大会 事業費：164,173 円

【開催実績】

開催日	令和5年11月25日(土)
場 所	三芳農村環境改善センター
参加人数	被表彰者25人 関係者及び職員61人 計86人
大会テーマ	第18回 南房総市社会福祉大会 大会テーマ 「みんなで育もうささえあいの心 広めよう地域のつながり」

<p>内 容</p>	<p>○式典 福祉功労者の表彰等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全国社会福祉協議会長表彰の伝達 <ul style="list-style-type: none"> ・三芳地区社会福祉協議会 2. 千葉県社会福祉協議会長表彰の伝達 <ul style="list-style-type: none"> 【民生委員・児童委員活動功労者】 ・富山 上村とみ江 ・丸山 渡邊千里 【優良地区社会福祉協議会】 ・三芳地区社会福祉協議会 3. 千葉県社会福祉協議会長感謝状の伝達 <ul style="list-style-type: none"> ・絵本読み聞かせボランティアグループあひるの会 4. 千葉県共同募金会長感謝状の伝達(7 地区) <ul style="list-style-type: none"> ・富山 犬掛区 ・三芳 府中区 ・白浜 根本区 ・千倉 宇田区 ・千倉 上瀬戸区 ・丸山 加茂区 ・丸山 古川区 ・和田 松田区 5. 南房総市社会福祉協議会長表彰 <ul style="list-style-type: none"> 【地域福祉活動功労者(10 名)】 ・相川 泉・鈴木妙子・服部菊枝・川名伊佐子・福原和子・山本美努里 ・石井一枝・菅野保男・松戸久子・岩崎 誠 6. 南房総市社会福祉協議会長感謝状 <ul style="list-style-type: none"> 【個人 1 名】・渡部晴美 【団体 1】・KDDI 株式会社南関東総支社 7. 福祉作文優秀作品表彰状 <ul style="list-style-type: none"> 【小学生の部】 最優秀賞 青木心玖(白浜小 6 年) 優秀賞 柴山聖菜(富浦小 5 年) 和田莉衣奈(嶺南小 6 年) 優良賞 小池琥太郎(白浜小 6 年) 池田介星(富山小 5 年) 【中学生・高校生の部】 最優秀賞 真田湮暖(白浜中 3 年) 優秀賞 平井美結菜(三芳中 2 年) 醍醐 輝(富山中 1 年) 優良賞 鈴木陽菜(千倉中 1 年) 小原千英(嶺南中 2 年) <p>○福祉作文の発表 ○来賓祝辞 ○大会宣言</p>
------------	---

地域住民の方々が一堂に会して、市の地域福祉について情報共有するとともに、多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々の功績を讃え表彰するため社会福祉大会を開催した。



第 18 回南房総市社会福祉大会



福祉作文の発表

(4)福祉活動支援事業

⑩福祉教育の推進

【福祉教育推進助成金交付校実績】 事業費：390,000 円

小学校名		中学校名		高校名
富浦小学校	富山小学校	富浦中学校	富山中学校	安房拓心 高校
三芳小学校	白浜小学校	三芳中学校	白浜中学校	
千倉小学校	嶺南小学校	千倉中学校	嶺南中学校	
6校		6校		1校

【福祉教育プログラムの実績】

講座名	開催日	内 容	参加者数
福祉教育 プログラム	7月27日 ～ 8月16日	・ボランティア活動の心がまえ ※事前学習 資料配布 ・自分が希望するボランティア活動に参加	市内小・中・ 高校生 13人
	6月22日	・富浦中3年 車イス・手話体験	小・中・学生 一般 373人
	7月5日	・嶺南小6年 高齢者疑似・手話体験	
	7月13日	・千倉小5年 災害講座	
	7月14日	・富山小5年 高齢者疑似体験	
	8月21日	・館山青年会議所 防災キャンプ内 安房地域4年～6年 高齢者疑似体験	
	9月3日	・富山地域センター 地域防災講座 一般市民 車イス・高齢者疑似体験	
	6月2日 6月23日 7月7日	・富山中1年 ステップ1 災害に関する基礎講座他 ステップ2 避難所とは？ 他 ステップ3 災害時にボランティア活動をして いる人の講話 ※グループワークは毎回実施	

小・中学校、高校の児童生徒に思いやりのある優しい心を育んでもらうことを目的に、福祉教育を推進する学校へ助成金を交付するとともに、福祉教育プログラムを実施し福祉教育を推進した。

学校等でのプログラムの実施に際しては、同じ体験を行う場合でも学校の狙いを踏まえながら全体の構成を調整し充実を図った。また、今年度は学校だけではなく、青年会議所や地域センターでの講座として実施し、幅広い対象の方に講座を開催することができた。

夏休みを利用した福祉ボランティア体験は、従前の形式を変え、児童生徒が希望するボランティア団体の活動へ参加してもらう形とした。活動先となる団体のジャンルの偏りなど課題はあったが、ボランティア本来の意味あいなど考えると今後も継続して実施し、地域の方々とつながりの中で、自主的に参加できる講座として進めて行きたいと考える。



高齢者疑似体験の様子



災害時車イスで避難を想定した体験講座

2 高齢者の日常生活の支援

(1)在宅福祉支援事業

①ふれあいの居場所づくり支援事業（お達者サロン）（市補助） 事業費：261,500 円

【年間実績】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
サロン開催状況	24ヶ所	22ヶ所	20ヶ所	△2
利用者数(人)	798	3,232	3,304	72
協力者数(人)	628	1,674	1,964	290

【助成金交付実績】 3団体・・・57,000円

身近な場所で交流することで閉じこもりを予防し、利用者相互の交流を通して生きがいを見だし、元気に過ごしていただき介護予防の促進を図ることを目的として、ボランティアが運営するお達者サロンに助成金を交付するとともにサロン運営を支援した。

コロナ禍や担い手不足等から新規立ち上げが難しい状況ではあるが、参加利用者及び協力者数は増加している。今後も居場所づくりの普及に向けて、ささえあいネットワーク南房総（協議体）と連動した働きかけを行い、介護予防への取り組みを進めていきたいと考える。



サロンで交流 介護予防体操



お花見サロンで閉じこもり予防

②あんしん見守り事業(みまも〜る)【新規事業】

事業費:1,472,152 円

【地区別配布数実績】 月平均配布数・・943 件

地区名	延べ配布数(件)
富 浦	715
富 山	751
三 芳	885
白 浜	1,523
千 倉	4,562
丸 山	1,454
和 田	1,430
合 計	11,320

協力ボランティア(延べ数)	
ボランティア 127 人	月平均 10 人
民生委員・児童委員 1,351 人	月平均 112 人
地区社協委員・他 74 人	月平均 6 人

毎月1回、ボランティア、地区社協、民生委員・児童委員等が地域の見守りが対象となる世帯を訪問し、健康・生活状況の確認を行うとともに交流を通して在宅生活を支援した。

年度当初は、昨年度まで実施してきたふれあいランチサービス事業対象者(70 歳以上の単身世帯)だったが、徐々に対象者が高齢者世帯、障害者世帯、その他の見守りが必要な世帯に広がり訪問活動が実施された。

地域で訪問する(される)ことによって、人と人との交流が生まれ、生活している方々の身近な困りごとの相談ができる仕組みが構築されてきている。また、訪問の際には地元の商店の協力をいただき季節に応じた品物をお届けした。対象となる住民、民生委員・児童委員、地区社協、ボランティアや商店など幅広い方々の参加と協力のもと事業を実施した。

③紙おむつ給付事業

(1) 紙おむつ給付事業 事業費:2,100,129 円

【給付実績】

(単位:人数)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比較
障害者手帳	171	167	153	△14
要介護 3	181	176	160	△16
要介護 4	148	135	122	△13
要介護 5	71	56	63	7
合 計	571	534	498	△36

要介護 3・4・5、重度障害者、療育手帳、精神障害者保健手帳を所持し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とされる方を対象に、年 4 回、1 回あたり介護度 3 は 2,500 円相当、介護度 4・5 及び障害者は 5,000 円相当の紙おむつを支給し在宅介護を支援した。

利用者の利便性の向上を図るため、昨年度から印鑑等の廃止等の見直しを行ってきたが、さらに令和 6 年度から社協の事務所移転に伴い、利用者の申請負担の軽減を図るため年 1 回の申請をもって 4 回の支給ができるよう要綱の見直しを行った。

(2) 高齢者介護用品支給事業(市受託) 事業費:2,977,339 円

【給付実績】

(3 月末給付実人数)

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比較
要介護4	34	35	34	△1
要介護5	11	12	13	1
合 計	45	47	47	—

要介護 4・5 の在宅高齢者で市民税非課税世帯の方を対象に、年 4 回、1 回あたり 25,000 円相当の紙おむつ代を助成した。

給付実績は昨年度と同じであった。本事業は市からの受託であるため、担当課である高齢者支援課と調整を図り実施した。高齢者介護用品支給事業が対象にならなかった方は紙おむつ給付事業で支給できるよう申請の案内を行い、世帯の介護負担軽減を図った。また、紙おむつ給付事業と併せ申請書や請求書等の事務に係る様式を変更し、利用者や事業者の負担軽減を図った。

④交通空白地有償運送事業(ボランティア移送サービス)

事業費: 収入総額(含前期):6,829,793 円 支出総額 3,285,021 円 当期末残額:3,544,772 円

【会員登録数・228 人】

(単位:人)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比較
利用会員数	136	155	159	4
協力会員数	69	69	69	—

【ボランティア移送サービス利用実績・1,389 人】

(単位:人)

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比較
延べ利用者数	1,331	1,729	1,389	△340
延べ協力者数	346	440	396	△44

【サービス内容】

(単位:件)

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比較
病 院	778	982	769	△213
公共機関	155	184	180	△4
買 い 物	380	541	421	△120
そ の 他	18	22	19	△3
合 計	1,331	1,729	1,389	△340

【運転協力者講習会開催実績】

(単位:人)

開催月日	内 容	参加者数
6 月 27 日	移送サービス運転協力者講習会	4

11月30日	移送サービス運転協力者講習会	5
11月29日 12月7日	移送サービス運転協力者フォローアップ講習会	41
合 計		50

高齢者・障害者等の移動困難者に対して、運転協力者(ボランティア)が通院や買い物等の送迎を行い、在宅生活を支援した。登録者数は前年と同程度で推移しているが、大幅に利用者数が減少している。その要因としては、透析で利用していた方の利用がなくなったことが影響し、延べ利用回数は前年と比べ減少している。

また、令和6年4月から社協事務所の再編が行われるため、各地区の運転協力者へ向けて地区会議を開催し説明と意見交換を行い事業方針を検討した。そこで令和6年度から新たな料金体系と安全運転管理体制のもと事業が実施できるよう規程等を見直し、自家用車を利用する協力者で拠点への来訪が困難な方について、LINEを活用した安全確認を開始した。また、利用者へは地区の担当職員が個別に訪問し説明した。

今後の課題は、協力者の確保、年齢ガイドラインの設定など、拠点再編後の運用の安定を図るなかで調整をしていく必要がある。



運転協力者運転講習会 運転実習



運転協力者への説明会

⑤生活援助サービス事業(みなみんおたすけサービス)

事業費:収入総額(含前期末):211,500円 支出総額:45,526円 当期末残額:165,974円

(1)みなみんおたすけサービス

【会員登録数・・ 35人】

(単位:人)

内 訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
利用会員数	5	8	13	5
協力会員数	17	19	22	3

【サービス実績】

(単位:件)

内 容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
話し相手	0	0	0	—
衣類の洗濯	0	0	0	—

住居の清掃	5	15	94	79
買物代行	3	0	0	—
食事の支度	0	0	0	—
その他	0	11	14	3
合計	8	26	108	82

南房総市にお住まいの方々のささえあい活動を目的に、高齢者・障害者等に対して、協力者（サポーター）が日常の家事を手伝い在宅生活を支援するサービスに取り組んだ。

利用実績ではゴミ出しの依頼が年間を通してあり、増加している。利用に関して急激な増加がみられないが、全地域で利用者が増えるよう生活支援コーディネーターや介護支援専門員との連携や対象者に向けて周知を図り推進していくことが課題である。

(2)生活支援(コロナ対応買い物代行)

【利用実績】

(単位:件)

内 訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
相談	5	9	—	△9
実利用数	4	9	—	△9
延べ利用回数	4	9	—	△9

「新型コロナウイルス感染症」と診断され、自宅療養等をしている方で、外出できない方に対して生活必需品の買い物を代行する生活支援については、新型コロナウイルス感染症が5類となったため、利用者はいなかった。

⑥福祉車両・福祉機器貸出事業

(1)福祉車両の貸出 事業費:748,464円

【年間貸出実績】※運転手は利用される方が手配しガソリン代は実費負担 (単位:件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
福祉車両貸出件数	738	937	784	△153
うち移送サービス件数	513	669	534	△135

車イス仕様車両を無料で貸出し、病院の送迎や外出等の在宅介護を支援した。また、事故が発生しないよう、福祉車両整備に努めた。

(2)福祉機器の貸出

【年間貸出実績】

(単位:件)

福祉機器名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
車イス	62	58	61	3
その他	0	0	2	2
合計	62	58	63	5

車イスを無料で貸出し、家族の介護負担を軽減することで在宅介護を支援した。

⑦福祉機器リサイクル事業 事業費:47,804 円

【年間実績】

(単位:件)

福祉機器名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	譲受数	譲渡数	譲受数	譲渡数	譲受数	譲渡数
車イス	8	11	3	9	5	8
歩行器 (シルバーカー)	0	2	4	2	4	5
杖	0	0	1	1	5	0
合計	8	13	8	12	14	13

ボランティア活動年間延べ人数……36名

各家庭で不要になった車イス・歩行器等を受け入れボランティアが整備し、必要とする方に提供することで資源の有効活用を図った。

ボランティアによる修理の活動は月1回だが、修繕等の件数は前年度より8件多くなっている。譲渡数は昨年と大差はなかったが、問い合わせ等も多く、地域に需要があるものと捉えている。

昨今、SDGsの観点からも有効な事業と考えられるので、今後も担い手となるボランティアの確保に努めながら本事業を推進していく。



ボランティアによる車イスの修理

⑧訪問理髪サービス事業 事業費:66,060 円

【年間実績】

(単位:人)

	令和4年度	令和5年度	前年度比較
申請者数(人)	9	13	4
利用者数(人)	7	9	2
延べ利用回数(回)	19	28	9
登録店舗数(軒)	20	21	1

移動が困難な高齢者や障がいのある方に対して、訪問による理髪サービスに係る費用の一部(1回当たり2,000円)を助成し、経済的負担の軽減を図り在宅生活を支援した。

申請者13人に対し実際の利用は9人であった。2年目の事業でありまだまだ利用者が少ないと思われるので、今後も周知活動と利便性の向上を図るとともに、館山市も同事業を行っているため、連携しながら利用者増を目指す。

3 安心した生活を送るための相談支援と権利擁護

(1)相談支援事業

①生活困窮者自立支援事業(市受託) 事業費:16,926,589 円

【年間実績】

(単位:件)

自立相談支援事業	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
新規相談件数	91	61	52	△9
プラン作成件数 (再プラン含む)	39	30	27	△3
終結件数	11	16	17	1

(単位:件)

家計改善支援事業	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
新規相談件数	11	10	10	—
プラン作成件数 (再プラン含む)	16	9	10	1
終結件数	5	9	4	—

(単位:件)

就労支援準備事業	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
新規相談件数	3	1	5	4
プラン作成件数 (再プラン含む)	4	5	2	△3
終結件数	0	2	1	△1

生活に困窮している方やその世帯の相談を受け付け、個々のニーズに応じた自立支援計画を作成し、関係機関と連携調整を図りながら就労等各種支援を継続的に行い、自立に向け支援した。

相談の内容では、精神疾患や発達障害があり、借金を抱え、就労に結びつかないといった複合的な課題を抱えている相談が増えている中で、自立相談支援員、家計相談支援員や就労準備支援員が連携し対応した。

今年度、広報紙や民生委員児童委員協議会での制度の説明について周知し、民生委員・児童委員からの相談から新規相談につながった。引き続き周知活動を行い、自ら相談に来られない方への対応に努めていく。

②日常生活自立支援事業(県社協受託) 事業費:2,455,300円

【年間実績】

(単位:人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
新規相談数	23	24	23	△1
新規契約数(移管含)	8	10	15	5
解約数	3	5	5	—
契約数(3月末)	18	23	32	9
現任支援員数	12	16	22	6

市社協主催 生活支援員・担当者研修会及び意見交換会……1月25日実施 17名参加
千葉県後見支援センター主催 生活支援員・担当者等研修会……1月29日実施 24名参加

高齢者や障がいのある方が住み慣れた地域でその人らしく安心して過ごすために、生活支援員が日常生活における財産の管理や福祉サービスの利用援助をサポートした。

介護支援専門員や福祉施設からの相談が増加し、契約者数が増加した。近年では、身寄りがないケースや複合的な課題を抱えている困難ケースも多い。そのため、生活支援員の増員に努めるとともに、生活支援員及び担当職員の研修を行い、支援の向上を図った。

また、通帳や資料などの管理、チェック体制を徹底し、ガバナンスの強化を図り事業を実施した。

③安房権利擁護推進センターへの協力

成年後見制度についての相談や利用を希望する方へ安房権利擁護推進センターを紹介し、成年後見制度の利用促進を図った。

安房地域権利擁護推進センター運営委員会参加……………2回

市民後見活動推進検討会参加……………2回

4 自立と生活の安定を図る資金の貸付

(1)資金貸付事業

①福祉資金貸付事業(市社協) 事業費:95,000円

【福祉資金貸付実績】 (単位:円)

	件数	貸付額	償還額	償還未済額
令和5年度貸付	3	95,000	95,000	0
徴収不能金	0	0	0	0

貸付件数:3件(小口生活支援資金1件、生活保護世帯応急資金2件)

生活保護申請者等の低所得者世帯や高齢者世帯、障害者世帯に生活資金を貸し付け、民生委員・児童委員と連携し自立更正及び生活の支援を行った。貸付の相談があった場合には、まずは市社協の貸付事業を優先し取り組んだ。しかし本人の貸付希望額が多い場合は、県社協貸付事業へと切り替え支援に努めた。この事業は、民生委員・児童委員との連携が必須であり、各民生委員児童委員協議会の定例会時に事業の説明を行い、迅速な支援の対応に努めた。償還は全て完了している。

②生活福祉資金、高齢者及び重度障害者居室等改築・改造資金貸付事業(県社協)

事業費:883,705円

【生活福祉資金貸付実績】

貸付相談件数…27件 (単位:円)

	件数	貸付額	備考
緊急小口資金	9	716,000	
福祉費(療養費)	1	628,000	

【高齢者及び重度障害者居室等改築・改造資金貸付実績】

(単位:円)

	件数	貸付額	備考
貸付	0	0	

生活福祉資金の貸付相談件数は 27 件で貸付は 10 件であった。

貸付相談では、初回の給料や収入が入るまでの生活費の貸付や生活保護のつなぎとしての緊急小口資金の相談が多かった。その際には、生活困窮者自立相談支援事業と併せて自立支援にあたった。

新型コロナに関する特例貸付の償還が始まり、優先度が高いケースに生活困窮者自立支援相談員から連絡をとり、生活状況の把握に努めた。中には連絡がとれない方もおり、引続き、利用者の状況把握に努め支援につなげていく。

5 ボランティア活動の支援

(1) ボランティア活動支援事業

事業費: 1,447,415 円

① ボランティア連絡協議会の運営支援

【年間実績】 (単位:回)

運営支援内容	回数
運営会議・役員会	12
行事関係	2



賑わうボランティアまつり

ボランティア団体の活性化により、地域福祉の向上を図るため、ボランティア連絡協議会及び各地区のボランティア活動の運営を支援した。

ボランティア連絡協議会では、今年度も「ボランティアまつり」を開催しボランティア同士の親睦を深めた。

② ボランティア・市民活動センターの整備

【年間実績】

内 容	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比較
ボランティア登録団体数	61 団体	58 団体	48 団体	△10
団体・個人登録者数(延べ)	923 人	857 人	673 人	△184
ボランティアコーディネーター	1 人	1 人	1 人	—

ボランティア活動を支援するため、ボランティア保険加入受付事務を行い、安心して活動できる体制を整備するとともに、ボランティアコーディネーターが積極的に地域の会議や行事に参加して、連絡調整や活動を支援した。

令和 4 年度をもって終了したふれあいランチサービス事業への協力ボランティア団体が解散した影響などから、登録団体数、登録人数ともに減少した。また、団体構成員の高齢化に伴い、既

存の団体に対しては細く長く活動を継続できるように働きかけやサポートに努めたが、社協としてボランティア活動支援の在り方の検討は、今後の継続課題である。

③ボランティア養成講座

【年間開催実績】

講座名	開催日	内 容	参加者数
災害ボランティア養成講座	8月31日 9月15日	【講師】 （公財）SL 災害ボランティアネットワーク 天寺純香氏 他 【講義①】 南房総市で想定されている災害・市民としての防災活動・生活再建に向けた取り組み 【講義②】 災害ボランティアセンターとは 【講義③】 災害ボランティアセンター疑似体験	民生委員 地区社協 行政 28人
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	2月17日	・職員による災害ボランティアセンター立ち上げについての訓練を実施 【内容】 ・南房総市との協定書について ・災害ボランティアセンターのレイアウトと駆け付けボランティアの導線について ・設営訓練	職員 18人
生活支援担い手養成講座（基礎講座）	2月26日	・社協のささえあい活動について（社協） ・南房総市の高齢者の現状及び高齢者の特徴と対応 【講師】 健康支援課基幹包括支援センター ・手助けするための心構え・緊急時の対応 【講師】 ボランティアコーディネーター	新規 サポーター 3人

ボランティア活動を始めたい方、またボランティア活動に関心を持つ方を対象に各種ボランティアの講座を開催した。（移送ボランティアやその他の養成は個々に実績を掲載している）



災害ボランティア養成講座



災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

④ボランティア活動助成事業

【助成金交付実績】

件 数	合 計	ボランティア団体(グループ)助成金内容
37 団体	852,000 円	市ボランティア連絡協議会 1 団体 58,000 円 支部助成 7 団体 107,000 円 助成団体 29 団体 687,000 円

※助成金交付内容(基本金額)

市ボランティア連絡協議会 80,000 円 ボランティア連絡協議会各支部 30,000 円

会員 10 名未満 20,000 円 10 名以上 30 名未満 30,000 円 30 名以上 40,000 円

昨年度実施したボランティア団体へのアンケート実施した結果「助成金手続きが煩雑である」という意見から、ボランティアセンターに登録及びボランティア活動助成に関する様式を変更し申請手続きの簡略化と利便性の向上を図った。

新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、ある程度活動が再開し助成金が活用されている。

6 共同募金運動の推進

(1)共同募金事業

全国一斉に行われる共同募金運動は 10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで実施され、区長を始め地域の方々のご協力をいただき活動が展開された。

①赤い羽根共同募金運動

【募金実績】

(単位:円)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比較
戸別募金	6,072,511	5,957,885	5,892,910	△64,975
法人募金	3,000	3,000	0	△3,000
学校募金	123,092	92,951	107,808	14,857
職域募金	19,884	15,881	14,830	△1,051
イベント募金	0	0	0	—
個人募金	0	0	39,100	39,100
その 他	69,026	139,506	76,397	△63,109
合 計	6,287,513	6,209,223	6,131,045	△78,178

区の役員をはじめ地域の皆様のご協力をいただき募金運動を実施した。世帯数の減少により募金金額は減少している。寄せられた募金は、社会福祉大会・福祉機器リサイクル事業・災害ボランティアセンター運営資材整備事業・高齢者、障害者等の福祉車両の整備事業・紙おむつ給付

事業・福祉作文コンクール・生活支援担い手養成講座・絵本贈呈事業・広報紙の発行・ホームページ運営など地域福祉を推進するために活用した。

★ **絵本贈呈事業** 事業費: 278,990 円

【絵本贈呈先実績】

保育所			幼稚園	
富浦保育所	富山保育所	三芳保育所	富浦幼稚園	富山幼稚園
千倉保育所	嶺南保育所	白鳩保育園	三芳幼稚園	白浜幼稚園
認定こども園こどもの森	白浜東部保育園		千倉幼稚園	嶺南幼稚園
8 園			6 園	



絵本のプレゼントに喜ぶ園児



絵本贈呈事業によるみなみんと交流

絵本に親しんでもらうことにより思いやりの心を育て、健やかな成長を願う健全育成を目的に、市内の保育園と幼稚園へ子ども達に向けた絵本を贈呈した。

各園が希望する絵本をクリスマスの時期にマスコットキャラクター「みなみん」とともに訪問し届けた。この事業は大変好評であり、絵本による読み聞かせは福祉教育の推進にも寄与していると思われる。絵本贈呈時に「みなみん」との交流を図る中で、赤い羽根募金運動や社協の周知活動を行っている。

② **歳末たすけあい運動**

【募金実績】

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
戸別募金	6,047,611	5,981,385	5,883,910	△97,475
街頭募金	64,181	44,807	61,186	16,379
法人募金	20,000	40,000	40,000	—
職域募金	3,984	0	0	—
イベント募金	13,041	0	0	—
個人募金	22,000	10,000	10,000	—
その他	11	10	10	—
合計	6,170,828	6,076,202	5,995,106	△81,096

【歳末たすけあい配分実績】

(単位:件)

分世帯(者)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
生活困難な支援世帯	34	29	31	2
独居高齢者	201	188	183	△5
高齢者のみ世帯	21	22	20	△2
寝たきり高齢者	14	13	8	△5
寝たきり障害者	13	12	11	△1
重度心身障害者(児)	122	111	107	△4
母子家庭	33	28	27	△1
父子家庭	2	2	2	—
児童養護施設	1	1	1	—
特別養護老人ホーム	7	7	7	—
老人保健施設	3	3	3	—
知的(精神)障害者施設	3	3	3	—
グループホーム	6	6	6	—
小規模多機能施設	3	3	4	1
小規模特別養護老人ホーム	1	1	1	—
グループホーム(障害者施設)	7	10	9	△16
合計(諸経費含む)	471	439	423	△21
	5,174,694 円	4,911,856 円	4,748,976 円	△163,540 円

12月1日から31日まで行われる運動では、赤い羽根募金同様、多くの皆様のご協力をいただいた。寄せられた募金は、スローガンである「あたたかいお正月」を地域で迎えられるよう、配分委員会を開催して配分方法を検討し、地域福祉事業に活用するとともに民生委員・児童委員を通じて市内の支援を必要としている方々や福祉施設へ見舞金を届けた。

また、市内中学校にご協力をいただき街頭募金を実施した。



学校募金の協力



街頭募金の実施

③災害義援金募集 義援金総額 246,348 円

全国各地で災害により被災された方々を支援することを目的に、災害義援金を募集した。

7 社会福祉協議会の活動基盤整備

①事務局体制の充実

理事会・評議員会の実施状況

理事会議案一覧 〈令和5年度〉

番号	会議回数	開催年月日	出席者数	日程	番号			件名	審議結果
					議案	報告	その他		
1	1	R5.5.26	理事 12名 監事 2名	1	1			令和4年度事業報告並びに決算の承認について	可決
2				2			理事候補者の選定について	可決	
3				3			監事候補者の選定について	可決	
4				4			評議員選任候補者の推薦について	可決	
5				5			評議員選任・解任委員会の開催について	可決	
6				6			評議員会の開催について	可決	
7						1	専決処分の報告について 生活福祉資金並びに高齢者及び重度障害者居室 増改築・改造資金貸付調査委員会規程の廃止	—	
8						2	南房総市地域福祉活動計画の進行管理について	—	
9						1	職員の採用について	—	
10	2	R5.6.15	理事 12名 監事 1名	1	7			会長の選定について	可決
11				2	8			副会長の選定について	可決
12				3		2	評議員の就任について	—	
13	3	R5.9.26	理事 12名 監事 2名	1	9			福祉功労被表彰者の決定について	可決
14				2		3	職務の執行状況について 令和5年度事業活動の執行状況について 令和5年度月次決算等の状況について	—	
15				3		3	第18回南房総市社会福祉大会の開催について	—	
16				4		4	職員の採用について	—	
17	4	R6.1.17	理事 12名 監事 2名	1	10			定款の一部を改正する定款の制定について	可決
18				2	11			職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
19				3	12			職員の再雇用に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
20				4	13			職員の旅費に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
21				5	14			令和5年度補正予算（第1号）について	可決
22				6	15			評議員会の開催についての開催について	可決
23				7		4	職務の執行状況について 令和5年度事業活動の執行状況について 令和5年度月次決算等の状況について	—	

24	5	R6.3.19	理事 10名 監事 2名	1	16		会員規程の一部を改正する規程の制定について	可決
25				2	17		職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について	可決
26				3	23		ボランティア移送サービス事業運営規則の一部を改正する規則の制定について	可決
27				4	18		令和5年度補正予算（第2号）について	可決
28				5	19		役員等賠償責任保険契約の締結について	可決
29				6	20		令和6年度事業計画について	可決
30				7	21		令和6年度予算について	可決
31				8	22		評議員会の開催について	可決
32				9		5	職務の執行状況について 令和5年度南房総市指導監査の結果について	—
33				10		5	令和6年度事務局体制について	—

評議員会議案一覧 〈令和5年度〉

番号	会議回数	開催年月日	出席者数	日程	番 号			件 名	審議結果
					議案	報告	その他		
1	1	R5.6.15	評議員 21名 理事 1名 監事 1名	1	1			令和3年度事業報告並びに決算の承認について	承認
2				2			理事の選任について	可決	
3				3			監事の選任について	可決	
4					1		南房総市地域福祉活動計画の進行管理について	—	
5	2	R6.1.29	評議員 18名 理事 1名	1	4			定款の一部を改正する定款の制定について	可決
6				2	5		令和5年度補正予算（第1号）について	承認	
7	3	R6.3.27	評議員 19名 理事 1名	1	6			会員規程の一部を改正する規程の制定について	可決
8				2	7		令和5年補正予算（第2号）について	承認	
9				3	8		令和6年度事業計画について	承認	
10				4	9		令和6年度予算について	承認	
11				5		1	令和6年度事務局体制について	—	

評議員選任・解任委員会議案一覧 〈令和5年度〉

番号	会議回数	開催年月日	出席者数	日程	番 号			件 名	審議結果
					議案	報告	その他		
1	1	R5.6.6	5	1	1			評議員の選任について	可決

②会員募集の状況

(単位:件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較
一般会員 (市内全世帯)	12,311	12,289	11,062	△1,227
賛助会員 (活動に賛同される個人など)	417	455	458	3
特別・施設団体会員 (福祉施設・団体など)	116	131	111	△20

会員募集では、世帯数の減少に伴い一般会員の減少があったが、特別会員加入について強化を図ったが、賛助会員のみ増であった。

③役職員研修

今年度の役員研修は実施なし。

④財産・人事管理

担当職員による財務研修に参加し、適正な財務会計・税務処理に努めた。また、公益性の高い社会福祉法人として、内部統制の強化を図り、働きやすい環境づくりに努めた。

⑤福祉基金の造成

基金積立額

(単位:円)

基金の種類	積立額
福祉振興基金	97,437,586
災害対策基金	11,041,775
ボランティア基金	1,596,357
合計	110,075,718

今年度も社協に寄せられた寄附を積み立て、その果実により社協活動の財源確保に努めた。

⑥福祉サービス苦情解決と情報公開

福祉サービス苦情解決とサービス向上のため、責任者、担当者及び第三者委員を配置し、体制を整備した。

⑦地域福祉活動計画に基づく活動の実施

今年度も地域福祉活動計画に基づく活動を実施した。また、年度末に地域福祉活動計画の進行管理表を作成し、各活動の評価を行い結果の把握・分析し考察した。引き続き、考察に基づき、計画の目標や見直しを図っていく。

令和5年度事業報告には、社会福祉法第45条の27第2項に規定する附属明細書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年5月

社会福祉法人南房総市社会福祉協議会

